2026 年度（後期）　日本海洋科学振興財団による海外渡航援助プログラムのご案内

日本海洋科学振興財団では、若手研究者の海外での学会やシンポジウムでの発表、国際共同研究、短期留学等の機会を増やすことを目的に、海外渡航援助を行っています。
下記の要領で、2026 年度（後期）の募集を致します。

(1)　援助額：航空運賃と宿泊費及び学会参加費等を対象として、2026 年度（後期）は 20 万円を上限とする。
(2)　募集対象：海洋学に関わる大学院生、ポスドク、30 才以下の地方公務員
(3)　人数：若干名
(4)　応募締切

	渡航時期	申込締め切り	採否連絡日
（後期）	2027 年 1 月～ 6 月	2026 年 11 月末日	2026 年 12 月中旬

(5) 応募書類
a)　申請書（下をクリックしてダウンロードできます）
b)　渡航目的の詳細（様式自由、A4 で 1 枚以内）
目的が学会等での発表の場合、参加学会等名称、口頭・ポスターの別、著者全員の氏名、発表題名、発表内容要旨　(すべて、申込時の予定で可)。
目的が学会等での発表でない場合は、その詳細と渡航中の計画。
c)　必要経費（様式自由）
航空券、宿泊費とその他に分けて概算金額を記載のこと。
格安航空券を用いること。宿舎も、安全に配慮しつつ、なるべく安いところを選ぶこと。
見積書は必要ないが、概算の根拠(参照 web page など)を記すこと。
他の援助と併用する場合には、それについても記すこと。
d)　業績リスト（様式自由）
論文等と学会発表等に分けて記載。
(6) 応募書類の送り先：
東京大学大学院理学系研究科
升本　順夫　教授
次のメールアドレスに「財団海外渡航援助申請」という件名で送付
masumoto(at)eps.s.u-tokyo.ac.jp（at を@に変更してください）
(7)　その他
・　予算の都合もあり、上限以下の申請でも、航空券と宿泊費の全額を援助できるとは限りません。
・　感染症等により渡航に関する状況が大きく変わる可能性もあります。オンライン参加に変更になった場合には、参加費のみの援助となります。

申請書と報告書の書式

振興財団渡航申請書をダウンロード

採用された方は、戻ったら報告書を１カ月以内に提出してください。

振興財団渡航報告書をダウンロード